



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS2338		
科目名	スポーツ測定評価		
担当教員	近藤 克之		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 4		
講義室	1309	単位区分	選,選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1 - E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4 - F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4 - I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識と専門技能（40%） F1 探究と論拠（15%） F2 課題解決（15%） I1 理解・分析と読解（10%） I2 量的分析（10%） I3 情報分析（10%）		
教員の実務経験	2010年から日本パラ陸上競技連盟強化委員として、パラリンピック選手に対するパフォーマンステストの実施や得られた情報のフィードバックなどを行ってきました。一般的体力項目の評価、競技パフォーマンスの評価、選手の個性性を考慮した評価など様々な測定および評価を行ってきた内容を活かし、測定から評価の一連の流れを学修できるように本科目を展開していきます（第1回から第5回、第15回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行情 3 発展期		
科目概要・キーワード	本科目では、スポーツに関わる指導者やトレーナーに必要となる、年代や競技種目、競技レベルに応じて選手の動作を観察する際に指標となる評価や測定方法を学修します。また、得られたデータについての見方、表現方法などを理解し、データを統計的な手法によって分析することで評価の仕方を学修します。さらに、質的な評価も重要となる場合があり、対象を分析するための立場を最適に選択することができるような姿勢を養います。授業形態は、講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：測定評価、トレーニング論、量的評価と質的評価、情報収集と活用		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学分野で行われる測定評価について、量的分析と質的分析の立場を理解し、それぞれの分析方法や評価方法を学修します。 ■授業の目的		

	本授業の目的は、スポーツ科学分野における測定評価に関する基礎的な知識を修得し実践分野で活用できるようになることです。その中でも、スポーツにおける情報活用の有効性を理解すること、また体力テストや運動能力テストの実施、トレーニング効果などを評価する際に量的及び質的な観点から最適な方法を選択し、分析、報告できるようになることを目指します。 ■授業のポイント スポーツの実践現場では、様々な事柄を測定し評価することによって現状を分析することが求められます。私たちは、対象を評価し今後の展望を立てるために、最適な分析方法を選択し、得られた結果を評価することや、評価した内容から今後の目標設定を行うなど、情報を活用していく力を身につける必要があります。 本授業では、スポーツ科学分野でこれまで行われてきた実験や調査の方法や、得られた結果を分析するための手法として統計的手法の活用方法、インタビュー調査や面接調査などの質的な分析を行うための基本的知識を学修します。このような学修から、最適に情報を収集し、それらを実践するための分析方法として、量的（計量的）分析と質的（特性的）分析の選択を行い（場合によっては双方を用い）、得られた結果を客観的に評価するための姿勢を養っていきます。						
総合到達目標	■スポーツ指導者やトレーナーとして対象者を客観的に観察するために、スポーツ科学分野における量的および質的な測定評価方法を学修し、スポーツ実践現場で科学的根拠に基づく対応を行うための基礎的な知識を修得する。 ・スポーツ実践現場において情報が果たす役割を説明できる。【知識】（第1回から2回授業） ・一般的な体力テストや運動能力テストを検討し、運動を評価できる。【技能】（第3回から5回授業） ・スポーツの様々な事象を測定評価する際に、統計的な手法を適用し分析できる。【技能】（第6回から11回授業） ・スポーツの様々な事象を測定評価する際に、質的な手法を適用し分析できる。【技能】（第12回から14回授業） ・得られた情報を対象者にフィードバックする際に、優先度をつけて示すことができる。【態度】（第3回から15回授業）						
成績評価方法	■授業シート13回（80%）：適用ルーブリック E1・I1・I2・I3 （評価の観点）予習及び授業内容を踏まえ、授業内で呈示する課題に最適な方法論で取り組み、得られた結果を考察することが出来ているかを、授業シートを用いて確認します。正確な判断をするための知識をもち、知識と知識を組み合わせ論理的に課題を解決する能力を評価します。 （フィードバックの方法）授業終了時に模範解答を返却し、自身が記入した内容と照らし合わせ、次の授業までに不明点を整理します。 ■レポート2回（20%）：適用ルーブリック F1・F2 （評価の観点）高度情報社会の中、スポーツにおいても情報を有効に活用することによって、様々な効果が期待されている。スポーツと情報を組み合わせ活用することを考え、現実的に効果を高めるような提案を行うことができるかを評価します。 （フィードバックの方法）レポート提出期限後に、模範解答を返却し、自身が記入した内容と照らし合わせ、思考を整理します。						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	特にありません。						
授業内容	下記の授業内容を良く読み、授業に向けた準備を行ってください。主体性をもって、授業に臨みましょう。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ スポーツ科学分野における測定評価の考え方（ガイダンス含む） ②授業概要 本授業の目的・方法などのガイダンス的内容を含め、スポーツ科学分野における測定評価の概要を説明できるようになる（E1）。その際、担当者の実務経験を踏まえて、実際に行われている測定評価の事例を概観する（E1）。また、測定評価の目的や意義、一般的留意事項を説明できるようになる（E1）。 ③予習（120分） スポーツ測定評価のシラバス内容を確認し、不明点があれば第1回目の授業内で確認できるように準備してくる。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ スポーツ科学分野における情報収集と活用 ②授業概要 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ スポーツ科学分野における測定評価の考え方（ガイダンス含む） ②授業概要 本授業の目的・方法などのガイダンス的内容を含め、スポーツ科学分野における測定評価の概要を説明できるようになる（E1）。その際、担当者の実務経験を踏まえて、実際に行われている測定評価の事例を概観する（E1）。また、測定評価の目的や意義、一般的留意事項を説明できるようになる（E1）。 ③予習（120分） スポーツ測定評価のシラバス内容を確認し、不明点があれば第1回目の授業内で確認できるように準備してくる。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。	2	①授業テーマ スポーツ科学分野における情報収集と活用 ②授業概要
回	内容						
1	①授業テーマ スポーツ科学分野における測定評価の考え方（ガイダンス含む） ②授業概要 本授業の目的・方法などのガイダンス的内容を含め、スポーツ科学分野における測定評価の概要を説明できるようになる（E1）。その際、担当者の実務経験を踏まえて、実際に行われている測定評価の事例を概観する（E1）。また、測定評価の目的や意義、一般的留意事項を説明できるようになる（E1）。 ③予習（120分） スポーツ測定評価のシラバス内容を確認し、不明点があれば第1回目の授業内で確認できるように準備してくる。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。						
2	①授業テーマ スポーツ科学分野における情報収集と活用 ②授業概要						

	「情報」とは何かを説明できるようになる（E1、I3）。その際、担当者の実務経験を踏まえて、情報の種類やその活用事例、技術的な側面、分析後の提供方法等について近年の事例を踏まえながら説明できるようになる（E1、I3）。また、「情報」の取り扱いについても説明できるようになる（I3）。 ③予習（120分） 「情報」というものが社会の中でどのような役割を果たしているのか、授業後に配布される予習課題に取り組む。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。
3	①授業テーマ スポーツ科学分野における測定と評価の在り方（体力テストや運動能力テストとその活用）① ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえて、体力テストや運動能力テストのデータ処理について確認し（E1、I2）、分析の仕方（処理の仕方、データの読み方など）やその応用について説明できるようになる（E1、I2）。 ③予習（120分） 第2回目の授業後に配布される予習課題に取り組む。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。
4	①授業テーマ スポーツ科学分野における測定と評価の在り方（体力テストや運動能力テストとその活用）② ②授業概要 前回に続き、体力テストや運動能力テストのデータ処理について確認し（E1、I2）、分析の仕方（処理の仕方、データの読み方など）やその応用について説明できるようになる（E1、I2）。その際、担当者の実務経験を踏まえて、具体的な体力データが教員から示され、そのデータを処理し、評価を行えるようになる（F2、I2）。 ③予習（120分） 第3回目の授業後に配布される予習課題に取り組む。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。
5	①授業テーマ スポーツ科学分野における測定と評価の在り方（体力テストや運動能力テストとその活用）③ ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえて、第2回目から4回目の授業で行ってきた、体力テストや運動能力テストのデータ処理（分析および処理の仕方、データの読み方など）や応用の仕方を活用し（E1、I1）、各競技に適合する体力テストや運動能力テストの在り方を説明できるようになる（F1、F2）。また、競技力を効果的に向上させるための体力テストや運動能力テストの活用法について議論し（F1、I1）、理解を深める。 ③予習（120分） 第4回目の授業後に配布される予習課題に取り組む。 ④復習（120分） 第2回目から4回目の授業内容を十分振り返る
6	①授業テーマ スポーツ科学分野における統計学の基礎① ②授業概要 統計学における、対象とする資料の検討や整理（分布、平均値、分散、偏差など）を行い、統計学の基礎を説明できるようになる（E1、I1）。 ③予習（120分） 第5回目の授業後に配布される予習課題に取り組む。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。

7	①授業テーマ スポーツ科学分野における統計学の基礎② ②授業概要 前回の授業内容を踏まえ、課題問題を解きながら、統計の基礎を説明できるようになる（E1、F1）。 ③予習（120分） 第6回目の授業後に配布される予習課題に取り組む。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。
8	①授業テーマ スポーツ科学分野における統計学的データの分析① ②授業概要 推計統計（母集団、標本、仮説検定など）の基本的な考え方を説明できるようになる（E1、I1）。 ③予習（120分） 第7回目の授業後に配布される予習課題に取り組む。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。
9	①授業テーマ スポーツ科学分野における統計学的データの分析② ②授業概要 前回の授業内容を踏まえ、課題問題を解きながら、統計の基礎を説明できるようになる（F1、F2、I2）。平均値に関する仮説検定（二つの平均値の差の検定、二つの比率の差の検定など）と比率に関する検定（二つの比率の差の検定など）について説明できるようになる（E1、F1、F2、I2）。 ③予習（120分） 第8回目の授業後に配布される予習課題に取り組む。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。
10	①授業テーマ スポーツ科学分野における統計学的データの分析③ ②授業概要 第8回目と9回目の授業内容を踏まえ、課題問題を解きながら、統計の基礎を説明できるようになる（F1、F2、I2）。相関係数に関する検定（相関係数の優位性の検定、順位相関係数の優位性の検定など）と分散に関する検定（二つの分散の差の検定など）について説明できるようになる（E1、F1、F2、I2）。 ③予習（120分） 第9回目の授業後に配布される予習課題に取り組む。 ④復習（120分） 第8回目と9回目の授業内容を見返しておく。
11	①授業テーマ スポーツ科学分野における統計学的データの分析④ ②授業概要 第8回目から10回目の授業内容を踏まえ、スポーツ科学分野における統計学的データの活用方法を説明できるようになる（データの特徴を把握でき、フィードバック方法を呈示できる；F1、F2、I1）。 ③予習（120分） 第10回目の授業後に配布される予習課題に取り組む。 ④復習（120分） 第8回目から10回目の授業内容を見返しておく。
12	①授業テーマ スポーツ科学分野における質的データの分析① ②授業概要 スポーツ実践にみられる、個別性の高い事象や、複合的な事象をインタビューや面接などの方法を用いて分析するための基礎を説明できるようになる（E1、F1、F2、I1、I3）。 ③予習（120分） 第11回目の授業後に配布される予習課題に取り組む。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。
13	①授業テーマ スポーツ科学分野における質的データの分析②

	②授業概要 前回の授業内容を踏まえ、質的研究や現象学的研究の観点から分析するための基礎を説明できるようになる（E1、F1、F2、I1、I3）。 ③予習（120分） 第12回目の授業後に配布される予習課題に取り組む。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。
14	①授業テーマ スポーツ科学分野における質的データの分析③ ②授業概要 前回の授業内容を踏まえ、質的研究や現象学的研究の観点から分析するための基礎を説明できるようになる（E1、F1、F2、I1、I3）。 ③予習（120分） 第13回目の授業後に配布される予習課題に取り組む。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。
15	①授業テーマ スポーツ測定評価のまとめ ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえて、スポーツ測定評価の授業で学習を進めてきた内容を競技スポーツ分野において生かせるよう、総合的かつ体系的に説明できるようになる（E1、F1、F2、I1、I2、I3）。 ③予習（120分） 第14回目の授業後に配布される資料を熟読してくる。 ④復習（120分） これまでの授業内容を総合的に復習する。
関連科目	「スポーツ測定評価演習 SSCS 3629」（3年次前期/後期担当）
教科書	Google Classroomを通して資料を配布します。
参考書・参考URL	開講時に紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日の4時限目と水曜日の5時限目に設定しています。指定時間以外でも対応しますので、その際には予め、アポイントメントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	

